港まちづくり協議会ニュース

JOINT COMMITTEE OF PORT TOWN NEWS LETTER

号外号

江川線街路樹再生ニュースレター その3

令和3年2月18日

第４回街路樹再生ワークショップを開催しました

２月４日（木）に開催された第４回ワークショップでは、パブリックコメント（皆さんからのご意見）として、25 名の方々から集まった地域の声を紹介しつつ、どの樹木を撤去・更新（他の樹木に植え替え）するのかについての具体案を検討しました。緊急事態宣言が発令されている最中ではありましたが、開始時間を前倒しにして開催し、21 名の方にご参加いただきました。

撤去と更新

これまでのワークショップでは、街路樹再生後の利活用についてもさまざまな検討をしてきましたが、今回のワークショップでメインとなったのは、歩道と自転車道の間にあるケヤキの撤去と更新の具体案について検討することでした。

事務局からは、78 本あるケヤキのうち 61 本を撤去し、17 本を花の咲く中低木に更新するという案が提出されました。事務局案の大筋は合意され、現在は更新する樹種の選定が行われています。

今後の江川線街路樹再生ワークショップ

専門家からのコメント

このワークショップには毎回２名の専門家の方に入っていただいています。今号は、都市計画の専門家として他地域の事例を交えたレクチャーをいただきつつ、まちに暮らす人の視点からも発言してくださる藤森さんからコメントをいただきました！

藤森 幹人 さん （ふじもり・みきと）

都市計画・地域開発の専門家。
（株）対話計画 代表。

「まちの顔」といえばヨーロッパは広場ですが、昔から日本は「通り」が中心でした。参道、商店街、目抜き通りなど。だからメインストリートの江川線は「みなとまちの顔」と言ってもいい。
この街を訪れる人はこの道に
「みなとまち “らしさ”」を期待します。
空が広く、海に続く道、地元の歴史や人情が溢れる道など。

近年は道路空間を単に車や人が通るだけじゃなく、マルシェや休憩など賑わいや暮らしの場に使うよう見直されています。おおよそ 50 年前にできたこの広い道路や歩道を、次の 50 年を見据えて、「地域で使いこなす場所へ」つくり直すチャンスです。
子や孫の世代が笑顔で過ごせる「まちの顔」を一緒に楽しく考えましょう。

ワークショップ開催日

第１回　第２回　第３回 終了

第４回 終了
将来図素案づくり②　2/4(木)
時間：１９:００～２０:３０
場所：港まちポットラックビル

ニュースレター発行
地域へ結果のフィードバック
◀今号はこれ

第５回
将来図素案づくり③　3/4(木)
時間：１８:００～１９:３０
場所：港まちポットラックビル

３月末開催予定の港まちづくり協議会会議にて、案を審議します。

2022 年度より、上記で承認されたプロセスを元に街路樹再生事業がスタートします。
ワークショップは、４月以降も定期的に開催する予定です。
日程は改めてお知らせします。

参加者 随時募集中！

ご興味・ご関心のある皆様はぜひワークショップにご参加ください。
単発・見学のみでも受け付けています。
ワークショップ資料をお渡しすることもできます。
ご希望の方は港まちづくり協議会まで下記についてご連絡ください。

① 参加 又は 見学　② 名前　③ 住所
④ 電話番号　⑤ メールアドレス

街路樹ワークショップのこれまでの様子

ワークショップの
短編動画ができました！
QR コードか、
URL よりご覧ください。

https://www.minnatomachi.jp/event/tsukuru/480

お問い合わせ先
港まちづくり協議会
JOINT COMMITTEE OF PORT TOWN
受付時間｜平日9：00–18：00
〒455-0037 名古屋市港区名港1-19-23
Minatomachi POTLUCK BUILDING
TEL｜052-654-8911　E-mail｜info@minnatomachi.jp
FAX｜052-654-8912　HP｜http://www.minnatomachi.jp ▶

ワークショップ 第4回 レポート

事務局案

ケヤキの撤去と更新プラン

更新する街路樹については、ワークショップの中で話題にのぼった樹木や専門家から提案された適正樹木13種の中から選定をおこない、第5回ワークショップで参加者の皆さんに確認頂きます。

パブリックコメントをご紹介します

パブリックコメントにお声を寄せていただきました25名の地域の方々のご意見を集約してご紹介します。

- 江川線沿線の住民、商店の方からは、ケヤキの撤去について概ね肯定的な意見が多く聞かれました。落ち葉の掃除や雨天時の滑りなどを考えると、積極的に撤去を望む声も多く聞かれました。専門家の判断で、このエリアにとって良いと思う案を提案してもらえれば、それに従うのが良いだろうという意見もありました。
- 街路樹で花火が見えないので撤去してほしいという意見もありました。
- 江川線のスペースを活用したマーケットやイベントの開催においても、肯定的な意見が多く聞かれました。そこに町の商店や住民が垣根なく参加できる機会を設けることを望まれる声もありました。
- 四季を感じることで人が外に出る（散歩する）きっかけを提供するという意見もありました。
- 花や樹木など自然と合わせて、江川線を心地よく歩ける環境づくり、きっかけづくりについて考えていけると良いのではないかと思います。ナンジャモンジャなど花が咲く木があると歩くきっかけになるという意見もありました。
- 鳥の居場所の喪失、都市緑化に反するのではないか？という意見もありました。

－事務局：自然との共生は引き続きテーマですが、今回の事業は緑化管理の質の向上を目的とするものにもなっています。

- 住民が植えた木や自然に生えてきた木については管理できなくなる前に対策を検討したほうが良いという意見がありました。

－事務局：近隣の方が管理しているものもあるので、確認をしながら進めていきます。